

第116回通常総会を開催



第116回通常総会の模様

本年五月二〇日、岩崎貞二海上保安庁長官を来賓にお迎えし、東京の海運ビルで第一一六回通常総会が開催され、平成一九年度の事業報告と収支決算、平成二〇年度の事業計画と収支予算などの議案が付議され、承認されました。

岩崎海上保安庁長官の祝辞

社団法人日本水難救済会 通常総会の開催にあたり、一言お祝いを申し上げます。

日本水難救済会は、明治二十二年の創立以来、わが国の民間海難救助組織の中核として、海で遭難した人々や船舶の救助活動などに輝かしい実績を上げられ、また、洋上救急事業におきましては、関係医療機関のご協力を受け、大きな役割を果たされているなど、海上における安全確保に多大な貢献をされております。

全国各地におきまして、海上荒天の中、昼夜を問わず、海難救助活動に出動されている救助員の皆様、その活動を支援していただいているご家族、救難所・支所、地方水難救済会の関係者の方々に對しまして、この場をお借りして、心からの感謝を申し上げます。

また、本日の総会後には、皆様方のご

功勞を讃える機会として、高円宮憲仁親王妃久子殿下のご光臨を賜り、名誉総裁表彰式典が開催されることは、私どもにとりましても大きな喜びでございます。

海上保安庁といたしましても、近年の沿岸海域で多発する海難については、沿岸地域の局地的な地理や気象・海象などを熟知した地元水難救済会の皆様方の救助活動に大きな期待を寄せているところであり、日本水難救済会の更なる充実・発展のため、今後とも全面的な支援・協力を行って参るとともに、緊密な連携のもと、海上における尊い人命、財産の救助に万全を期す所存であります。

最後になりましたが、全国各地でボランティア活動として、人命救助という崇高な使命のもと、ご活躍されている救助員の皆様や日本水難救済会のご活躍にご支援ご協力をいただいている皆様方のご健勝と日本水難救済会のご、より一層のご発展を祈念いたしまして、私の祝辞とさせていただきます。